

製品名: DGK-ζ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09950**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	DGKZ
別名	DGKZ; DAGK6; Diacylglycerol kinase zeta; DAG kinase zeta; Diglyceride kinase zeta; DGK-zeta
遺伝子 ID	8525.0
SwissProt ID	Q13574
免疫原	抗血清はヒト DGKZ 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 601-650

背景

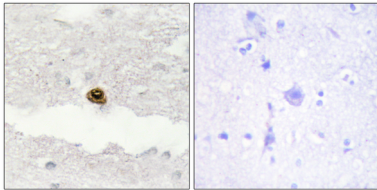
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、真核生物のジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属します。細胞内シグナル伝達カスケードおよびシグナル伝達におけるジアシルグリセロールレベルを調節することにより、プロテインキナーゼ C の活性を減

弱させる可能性があります。この遺伝子座では選択的スプライシングが起こり、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2010年11月],触媒活性: $\text{ATP} + 1,2\text{-ジアシルグリセロール} = \text{ADP} + 1,2\text{-ジアシル-sn-グリセロール 3-リン酸}$ 。注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。機能: 1,3-ジアシルグリセロールよりも 1,2-ジアシルグリセロールを強く選択的に認識しますが、長鎖ジアシルグリセロールの分子種間では基質特異性がありません。アイソフォーム 2 は RASGRP1 の活性を制御しますが、アイソフォーム 1 は制御しません。PTM: PKC による MARCKS 相同ドメインのリン酸化は、DGK- ζ の核内蓄積を減少させます。類似性: 真核生物ジアシルグリセロールキナーゼファミリーに属します。類似性: 1つの DAGKc ドメインを含みます。類似性: 2つの ANK リピートを含みます。類似性: 2つのホルポールエステル/DAG 型ジンクフィンガーを含みます。サブユニット: シントロフィン SNTG1 の PDZ ドメインおよび SNX27 の PDZ ドメインと相互作用します。アイソフォーム 2 は RASGRP1 および HRAS とシグナル伝達複合体を形成します。組織特異性: 脳に最も多く存在し、骨格筋、心臓、膵臓にも相当な量存在します。アイソフォーム 1 は主に筋肉で発現します。、

研究分野

グリセロ脂質代謝;グリセロリン脂質代謝;ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系;

画像データ



DGKZ 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。